



A Fair Shot for All

ミシェル・オバマ

4年越しに明かした “ある少女の物語”

去る9月7日、元大統領のバラク・オバマ氏とファーストレディーのミシェル・オバマ氏の公式肖像画の除幕式がホワイトハウスで開催された。大統領夫妻の公式肖像画の制作・披露は、次代の大統領任期中に行われるのが慣例だが、ドナルド・トランプ大統領時代に行われなかったことから、一期遅れでの実施となった。お披露目されたばかりの肖像画の横でミシェル氏は、自らがたどってきた道を振り返りながら、アメリカという国のあるべき姿を力強く語った。



■ミシェル・オバマ

第44代米大統領バラク・オバマの妻。1964年、シカゴのサウス・サイド地区生まれ。ハーバード・ロー・スクールを卒業後、シカゴの法律事務所勤務。そこでバラクと出会った。夫と共に「オバマ財団」を通じて慈善活動を行う。2018年の回顧録「マイ・ストーリー」(原題: *Becoming*) は世界45言語で発売され1000万部を突破、記録的なベストセラーとなった。

61) ファーストレディーになったことは「いまだに不思議」

Believe it or not, it is still a bit odd for me to stand in this historic space, see this big, beautiful painting staring back at me. Growing up on Euclid Avenue, I never could've imagined that any of this would be part of my story.

But even if it's all still a bit awkward for me, I do recognize why moments like these are important, why all of this is absolutely necessary. Traditions like this matter not just for those of us who hold these positions but for everyone participating in and watching our democracy.

You see, the people—they make their voices heard with their vote. We hold an inauguration to ensure a peaceful transition of power. Those of us lucky enough to serve work, as Barack said, as hard as we can for as long as we can, as long as the people choose to keep us here.

believe it or not:
信じられないような話だが、驚くべきことに

odd:
不思議な、奇妙な

stare back at:
(見る人を)じっと見返す

grow up:
育つ、子ども時代を過ごす

story:
人物にまつわる物語、経歴

awkward:
気詰まりな、居心地が悪い

recognize:
~を認める

absolutely:
絶対に、間違いなく

tradition:
しきたり、慣例

matter:
意味がある、重要である

position:
立場、地位

participate in:
~に関わる、参加する

democracy:
民主主義

make one's voice heard:
自分の声を届かせる、自分の意見を聞いてもらう

vote:
投票

inauguration:
就任式

ensure:
~を確実なものにする

transition of power:
権力の移行

serve:
務める、仕事を行う

信じられないかもしれませんが、私としてはいまだに少し不思議です、この歴史ある場所に立って、こちらを見つめ返すこの大きな、美しい肖像画を眺めるのは。(シカゴの)ユークリッド・アベニューで子ども時代を過ごしていた私は、このようなことが自分の物語の一部になるとは思ってもみませんでした。

ですが、私にとって、こういった何もかもがいまだに少し居心地悪く思えても、このような機会がなぜ重要なのか、このようなこと全てがなぜ不可欠なのか、私にはわかっています。今回のような伝統には、こういう立場にある私たちのような者だけでなく、この国の民主主義に関わり、見守る全ての人々にとって意味があるのです。

というのも、国民は投票によって自分の意見を表明します。私たちは平和的な権力の移行を期して就任式を執り行います。奉仕する幸運を得た私たちのような者は、バラクも言った通り、持てるかぎりの力を尽くして、私たちをここに留め置くことを国民が選んでくれるかぎ